

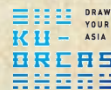
2019年度

関西大学 東西学術研究所

第10回研究例会(言語交渉研究班)



関西大学
東西学術研究所



関西大学
アジア・オープン・
リサーチセンター

国際ワークショップ

『敦煌写本の諸相』

2019年 11月30日(土) 13:00~17:50

場所:千里山キャンパス 以文館4F セミナースペース

申込不要・聴講無料

講演

“Research methods and priorities for Middle Vernacular Sinitic (MVS)”
Victor H Mair(梅維恒)/Professor, the University of Pennsylvania

「敦煌殘卷綴合——拼接撕裂的絲路文明」

張涌泉/浙江大学 教授

研究発表

「敦煌文献に現れる口語語彙語音別整理の方法について」

玄幸子/東西学術研究所 研究員、関西大学外国語学部 教授

「敦煌書儀・書簡文の整理と研究展望」

山本孝子/東西学術研究所 非常勤研究員、関西大学 非常勤講師

「表音文字は中國語口語スタイルにどの程度影響を及ぼすか？」

高田時雄/東西学術研究所 委嘱研究員、京都大学 名誉教授、復旦大学 特聘教授

共催:中国口語語彙の音的分類方法確立のための予備的研究(挑戦的研究(萌芽)・玄幸子);
関西大学アジア・オープン・リサーチセンター

お問い合わせ先

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL:06-6368-0653

FAX:06-6339-7721

E-mail:touzaiken@ml.kandai.jp